

令和八年度一般選抜（前期日程） 「国語」 解答例

「一」

問一 ①ひょうしょう ②つか ③したく ④ひへい

問二 私たちの日常生活を支える下部構造

問三 社会の中で自分の能力と成果を証明することのほうが重要だから。（三〇字）

問四 自律

問五 自分の裁量が増えることを自由だと読み替え、主体的に統御した「私らしさ」を他者に向けて表現すること。（四九字）

問六 インフラ化した多数の生命の因果から切り離れた主体的に統御した「私」を表現する自炊ではなく、食べることを通して自分の身体とつながる多数の生命を感じるということ。（七九字）

「二」

問一 ① 大げさに。 ② お思いになって。 ③ 気づかない。

問二 ④ カ行下二段活用動詞「あく」連用形 + 完了の助動詞「ぬ」已然形
⑤ 尊敬の補助動詞「たまふ」連用形 + 過去の助動詞「き」連体形
⑥ ラ行四段活用動詞「しる」終止形 + 現在推量の助動詞「らむ」已然形

問三 ① はかない人生。 ② 老年。

問四 人の命はまたたく間の火葬の煙となってしまうだろう。

問五 憎らしくない、肉の落ちたこの頭骨の目玉の穴は、ああ素晴らしいことよ。

問六 飛鳥川の淵瀬が変わりやすいように明日はわからない世の中。

「三」

問一 ①すくなし ②もとより ③はたして

問二 人相見が姚元崇に「裴光庭が宰相になります」と言った。

問三 裴光庭が宰相にふさわしい人物だとは思えなかったので、彼が宰相になれるか再確認しようとしたから。

問四 其の人に非ずんば、之に居るべきこと莫し。

問五 運命

問六 姚元崇は裴光庭には宰相になるための才能が無いと判断したが、人相見は裴光庭が宰相になる運命を持っていると判断したから。